



仁王の股ぐり
なら万満寺
竜宮の門をくぐ
れば布施弁天
将門の伝説を秘
めた我孫子の日秀
近藤の最後の岸
は流山
標高は十五メー
トルの赤城山
風車とチュー
リップのあけぼの山
は俳諧の足跡残す
一茶さん
お 鬼を弓で射る雷
神社のおびしや神事
う 運河の橋のたも
とにビリケン君
わ 渡し舟に乗って
野菊の墓詣で
ち ジンガラ餅 神
事は茂侶神社
た 高瀬舟積んでお
江戸へ天晴、万上

たて10センチ
よこ7センチ

東葛歴史かるた

旅行作家・中村哲夫さんの新作



まだ猛暑が続いていた9月下旬、流山の「杜のアトリエ黎明」で新作かるたの展示発表会があった。グラフィックデザイナーで旅行作家、カメラマンでもあり、ペン画も鮮やかな著書の多い中村哲夫さんが東葛近辺の歴史を解説したかるただった。「かるたを通して、ふるさとの歴史を知ってほしい」という念願が実ったもの。取り札の、中村さんらしいイラストが楽しい。その裏面には、流山の郷土史家青木更吉氏の解説があり、東葛の個々の歴史を教えてくれる。そのひとつを紹介させてもらおうと！

に 仁王の股ぐりなら万満寺 馬橋の水戸街道沿いにある万満寺は、江戸にまで聞こえた名刹である。それは江戸まで出開帳したり、式亭三馬の「浮世風呂」で紹介されたためである。出開帳では、仁王様を江戸の本所まで船で運んだようだ。春の仁王様の股ぐりは、中風よけ等にご利益があると、順番待ちの長い行列ができる程の人気がある。

中村さんは、いま利根運河を散策する人々をスケッチしている。100枚ほど描いたら、また展示会をしたいという。題して、「利根運河いいひとたち」



かるたの連絡先 柏市戸張1030-11中村哲夫(04-7163-4638)

末広クラブ・逆井漫歩165 平成23年12月